

整備を進める

直谷城址…草払い、看板立て 曲川橋展望所…ベンチ

本年度の整備事業は、曲川橋周辺だけでなく直谷城址まで拡大しました。そのため、まち特の補助申請も、新しく『地域活力創出事業』(吉井地区歴史・自然・文化資源周辺整備・継承事業)として提出し、認可を受けています。

その主な事業内容として①直谷城址の看板立て ②直谷城址の草払い ③曲川橋展望所の花壇の整備 ④曲川橋展望所のベンチの設置 がありました。その事業が一気に進みました。



展望所の掛井小屋とベンチ

曲川橋展望所

ベンチについては、昨年度事業の内容であった掛井の小屋周辺を考えました。ところが、昨年度末から腰を痛め小屋の製作ができませんでした。やっと取りかかったのが8月。そして9月8日(土)、この日は朝から雨でしたが、5名が集まって、柱を立てました。当初、東屋風の小屋を考えていましたが、強度の関係から、ピラミッド型にし、その上に、前田岩男さん(故人)から寄贈を受けた風車を設置しました。

小屋には滑車をとりつけ、つるべを設置。何十年ぶりに、井戸の水が汲まれました。その後約20日をかけベンチを製作。背もたれには曲川橋関連の写真(プリント看板)を貼り付けています。

また、花壇には5月に植えたキバナノコスモス300本に代わり、8月31日、トレニア150本、キバナノコスモス50本、コスモス150本を植えかえました。さらに、15鉢のプランターを置き、アメリカンブルーやランタナ、日々草などを植え、展望所内に配置しました。

直谷城址

昨年度から少しずつ進めてきた案内看板の設置。10月6日で全ての設置が終わりました。140×90cmの鳥瞰図が4枚、A4判の安徳天皇伝説1枚、他、A4判縦2分割大の看板全18枚です。これで、観光で訪れた方にも分かりやすく興味を持って直谷城を感じていただけるものと思います。

また、9月29日には草払いを行いました。年間3回、前回6月にボランティア団体による大掛かりな草払いをしていただいたこともあって雑木等は少ないと言え、道が隠れるほどの草丈がありました。

看板立てと並行しての作業ということもあり、4名での草払いでした。早朝からお疲れ様でした。



草払い(空堀跡付近)



追手道入口の鳥瞰図看板設置風景

そしてイベントです

こうして整備された場所を使つてのイベントが近づいています。

■10月14日(日) 第4回歴史の福井谷『伝説の直谷城』体験ツアー—
腰兵糧づくり、弓矢による射的、姫落とし伝説の岩体験など。

■10月27日(土) 『石橋案内会』

コンテストの一環として、世知原、吉井地区の石橋を案内。